



良書を初めて読むときは、新しい友を得たようである。前に精読した書物を読み直すときには、旧友に会うのと似ている。(イギリスの作家ゴールドスミス)

平成25年度も

幼少期からの 読書活動を推進



今年度も、県民の皆様が幼少期から生涯にわたって読書に親しみ、豊かな人生を歩むことができるよう、県は読書環境の整備・充実を図っていきます。

- 市町村における「子ども読書活動推進計画」の策定を支援します

5月現在、12市町村が「子ども読書活動推進計画」を策定し、それぞれの計画に沿って読書活動を推進しています。今年度内に、更に9市町村が計画を完成させる予定です。予定どおりに市町村の実情に応じた計画が策定できるよう、情報提供や助言に努めます。

【策定済み市町村】

秋田市・大館市・男鹿市・由利本荘市・潟上市・大仙市・小坂町・上小阿仁村・八郎潟町・井川町・美郷町・東成瀬村

- 県立図書館の「打って出る司書」が地域の読書活動推進を支援します

市町村図書館や公民館図書室の巡回訪問予定回数を大幅に増やし、県北・県央・県南の専従の「打って出る司書」を置くことで、より地域の実情に応じた情報提供や助言を行える体制にしました。また、「読み聞かせ」「図書補修」等の研修にも応じていますので、お近くの市町村図書館や公民館図書室にご相談ください。

- 県内の読書の気運を高めるために、「秋田県読書フェスタ」を開催します

期間 平成25年10月12日（土）から
平成25年10月19日（土）まで

県内には、本のおもしろさや読書の楽しさを伝えようと活動している人がたくさんいます。書店や図書館で働く人、ボランティアで学校や施設で読み聞かせをする人、本について語り合うコミュニティをつくっている人などに呼びかけて、「秋田県読書フェスタ」を開催します。読書の秋、県内のどこにいても、読書で盛り上がるができるように、イベントなどをまとめたマップを作って広報します。

どうぞ、ご活用ください！

「生涯にわたる読書の姿～読書活動のみちしるべ～」

今年3月、小冊子「生涯にわたる読書の姿～読書活動のみちしるべ～」を作成しました。

まず、人生を読書という視点で捉えたとき、各ライフステージにおいてよく目にする特徴的な「本を読んでいる様子」を、誕生から大人になるまで段階的に並べてみました。



すると、幼少期からの読書の重要性や子どもの読書を支援する「人」の存在、読書が循環している様子などが明らかになってきました。また、成長の過程における読書の課

題や取組の留意点も見えてきたので、読書環境づくりのヒントとしてまとめています。

作成に当たっては、教育庁各課や県立図書館、市町村教育委員会、学校、書店商業組合等の読書関係者による「秋田県子ども読書活動推進会議」で協議しました。

秋田県教育庁生涯学習課ホームページ「各種情報」に掲載しておりますので、今後の読書活動への取組に、どうぞお役立てください。

<http://www.pref.akita.lg.jp/www/contents/1364874365923/index.html>



「子ども読書の日」県内の図書館や学校などで168の取組

4月23日(火)は「子ども読書の日」。平成13年に施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律」第10条3項に、「国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。」とあることから、各市町村は子どもが意欲的に読書に親しむことができるような読み聞かせや展示などを行いました。ここでは、図書館と学校で行われた取組を一つずつ紹介します。

大仙市立西仙北図書館

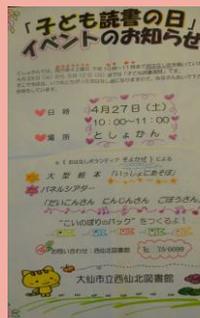
「子ども読書の日」イベント

西仙北図書館では、毎月第4土曜日、「おはなしボランティアそよかぜ」によるおはなし会を行っていますが、4月27日(土)は「子ども読書の日」にちなんで、いつもと趣向を変えて特別イベントを行いました。

絵本や大型絵本の読み聞かせのほかに、パネルシアター、手遊び、工作をプログラムに入れました。特に、子どもたちは、泥だらけの野菜の色が一瞬にして変わるパネルシアターに大喜び。お話を楽しんだ後は、使わなくなった書類袋を利用して、親子で鯉のぼりバッグ作りに挑戦しました。



イベントを楽しむ親子



手作りのお知らせポスター

潟上市立天王南中学校

校長先生による読み聞かせ

昨年まで、「子ども読書の日」の取組として学級担任が行っていた読み聞かせを、今年からは校長先生が行いました。その読み聞かせに選ばれた音楽室が「耳なし芳一」の世界に本は「耳なし芳一」でした。



音楽室が「耳なし芳一」の世界に

5月8日(水)、音楽室に集まった113名の3年生への読み聞かせが始まりました。ときにか細く、ときに力強く、様々な声を使い分ける加賀谷かをる校長先生。BGMの琵琶の音や映し出された挿絵の映像による効果的な演出もあってか、生徒たちは、怨霊に耳を引きちぎられるまでの緊張感やむごたらしさを感じ取り、口々に「怖かった。」と感想を述べていました。

この読み聞かせの後、小泉八雲の作品を探す生徒が図書室を訪れるようになったそうです。

子どもの読書活動優秀実践図書館・団体

文部科学大臣表彰

文部科学省は、子どもの読書活動を推進するため、特色ある優れた取組等を行っている学校、図書館及び団体(個人)を表彰しています。

平成25年度、秋田県から表彰されたのは、次のみなさんです。活動内容については、後日、この紙面で紹介します。

- 優秀実践校
 - 横手市立朝倉小学校
 - 能代市立能代第二中学校
 - 秋田県立大館鳳鳴高等学校
- 優秀実践図書館
 - 湯沢市立湯沢図書館
- 優秀実践団体
 - 朗読ボランティア いずみ(にかほ市)



受賞した湯沢図書館と朗読ボランティアいずみのみなさん

5月23日(木)、優秀実践図書館・団体表彰の報告会が県庁第二庁舎教育庁ホールで行われました。

米田教育長からは、受賞のお祝いとともに、「今後も、子どもたちから高齢の方々までが、本をじっくり読む時間を過ごしてもらえるよう貢献してください。」と激励の言葉がありました。

秋田県教育庁生涯学習課
生涯学習・読書推進班



URL <http://www.pref.akita.lg.jp/syogaku/>